

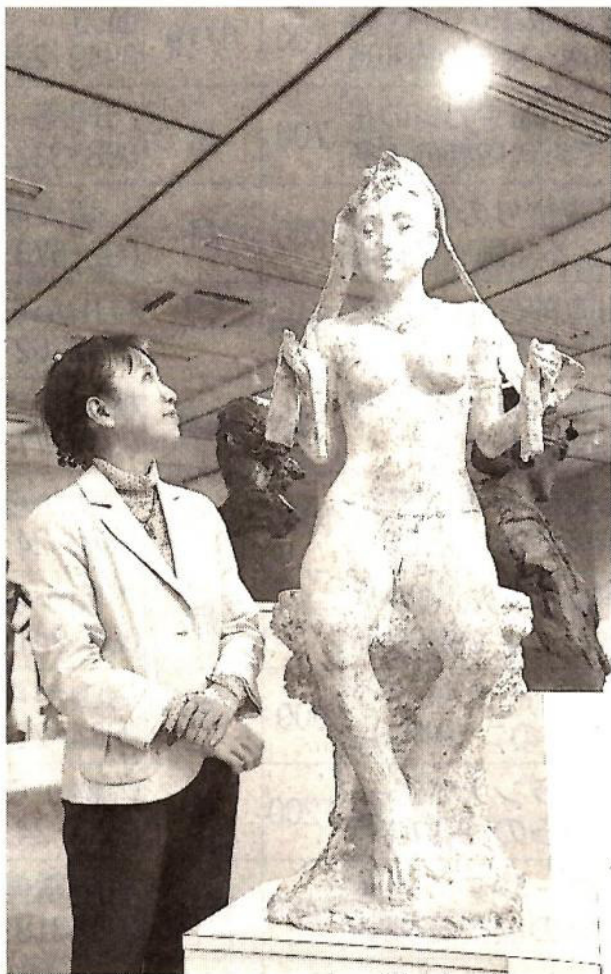
彫刻家 40年の変化たどる

崇城大・楠元教授が個展

崇城大学芸術学部美術学科の楠元香代子教授の彫刻展が熊本市中央区花畑町の同大ギャラリーで開かれている。40年間で制作した彫刻作品のうち50点を展示している。28日まで。

展示では、故郷の鹿児島

県で高校の美術教師として過ごした20年間を経て、現在に至るまでの少しずつ変化した作風を一度に見ることがができる。近年は、2000年に訪れたスリランカの石仏に影響され、女神を作る人が多いという。



楠元香代子教授と女神の彫刻作品
11日、熊本市中央区花畑町

「昔は彫刻は敵のよう
で、挑んでいくものだった
けれど、今は友達という感
じがする。40年経って語ら
えるようになった」と楠元
教授。「個展はお披露目と
同時に、次はどういうこと
をしようかなと考える場
でもある。色々な人との出
会いがあり、刺激になる」と
話している。

入場無料。午前10時半か
ら午後7時（最終日は午後
5時）まで。問い合わせは
同ギャラリー（096・3
23・1158）へ。

（杉山歩）